



スケート部

■ 1923年(大正12年)公認

部員数

56名



部長
福島淑彦
政治経済学部
教授

2025年度のスケート部は、ホッケー23名、フィギュア27名、スピード6名の計56名で活動しました。3部門は基本的に独立して活動しているため、全員が顔を合わせる機会は多くありませんが、春の部員総会や早慶戦、WASEDA ON ICEなどを通じて、早稲田大学スケート部としての連帯感を持ちながら部員は活動しています。

25年度の試合戦績で特筆すべき結果は、ホッケー部門の春冬の早慶戦勝利、フィギュア部門2年生千葉百音のミラノ・コルティナ冬季五輪出場、スピード部門2年生河原莉緒の日本学生氷上選手権大会での500m5位・1000m7位入賞、です。



ホッケー部門主務
岩村晴翔
社会科学部
早稲田実業

本年度は4年生が4名と人数が少ない中で「インカレ優勝」という最終目標を達成するため、下級生から上級生までチームが丸となって活動してまいりました。「Commit」というスローガンの元、一人一人がチームのために犠牲、挑戦、責任を体現し、勝つためには何をすべきなのか全員が「考えるチーム」を目指して、努力してまいりました。結果として、夏の大会では前年度を超える成績を収めることができました。

来年度もチームが丸となって努力を続け、さらなる成長を遂げることができるよう頑張りたいと思います。最後ではありますが、引き続き早稲田大学スケート部の応援をよろしくお願い申し上げます。



スピード部門主務
小田 琥太郎
文化構想学部
松山 東

102代目を迎えた本年度のスケート部。スピード部門では、4年生不在の中、計6名という少数体制で活動しております。昨年に引き続き競技、種目の違いから日々の練習や遠征も少数または一人での行動となることが多いですが、個々のレベルアップを図りつつ全員がチーム意識をもって行動することを目指し、選次ミーティングでは積極的な情報共有を進めてきました。また個人としては、主務の業務を遂行する中で、早稲田大学体育部員の一員として活動できることの有難さを再確認することができました。今の環境で競技に取り組んでいることへの感謝を忘れず、学生として最後の一年を全うできるよう努めてまいります。



ホッケー部門監督
堤 広利

4年生の皆様、辛部おめでとうございます。皆さんとは1年生の夏からの付き合いですが、出会った頃はまだまだ高校生顔の面影が残っていましたね。それぞれ、少し尖っていたり、少し日本語が不自由だったり、少し自信を無くしかけていたり、少し寝坊が多かったりしましたが、いまでは最上級生として立派にチームをまとめてくれました。コロナの影響もあり、少ない人数で色々苦勞も多かった学生時代だと思いますが、早稲田大学の絆は卒業してからこそ実感するものだと思います。

春からはそれぞれ違う道を進むことになると思いますが、スケート部で培った絆を活かし、新たなステージでのご活躍を期待しています。

またリンクで会えるのを楽しみにしています。



スピード部門監督
高野 正樹

本年度、スケート部スピード部門には6名が所属、活動しています。部員は少数ですがロングトラック、ショートトラック、インラインといった多様な競技に取り組んでいます。それぞれの競技が違うことにより部員相互の気づきや学び合いを強めとるべく、部門内のコミュニケーションを重視して活動しています。また、部門の共通目標としてスピードスケートの関係人口を増やすことを掲げ、競技自体の持続や社会への貢献も目指しています。

スケート部は今創部102年目となります。伝統をつなぎ、早稲田の旗の下に奮闘するスピード部門の活動にご期待、ご声援をお願いします。



フィギュア部門監督
八木沼 純子

スケート部フィギュア部門、部門監督となり今年で3年目を迎えました八木沼純子です。今年は、新入部員選手9名、マネージャー2名をあわせ11名がスケート部に入部。総勢27名と共に活動をスタートしています。来年1月に辰巳で行われる日本学生氷上競技選手権大会には予選を勝ち上がった7名が出場。また弊部門所属の千葉百音選手は、来年2月にイタリアで開催されるミラノ・コルティナオリンピックに向けて海外遠征をおくりながら五輪最終選考会となる12月の全日本選手権大会に向けて一専心取り組んでいます。来年3月には6回目となる早稲田オンアイスも開催。それぞれの部員に向けて今年も応援声援のほどどうぞ宜しくお願いいたします。



ホッケー部門主務
清水朝陽
社会科学部
武修館

今年度を表すと「変革」この2文字に尽きると思います。新たに6人の新入生を迎え、部員計22名で活動して参りました。一人一人が競技に向き合う時間を例年より多く設け、チームとして勝つことを目標に取り組みました。春9位、夏ベスト4、秋5位、インカレベスト8と満足のいく結果は残せなかったものの自分たちの色を追求し、今後の早稲田の指針となるものを全員で探ることができた年になったと思います。また、昨年度奪われてしまった冬の早慶戦の王座を奪還し、優秀の美を飾ることができたことは今年度の私たちの活動の成果だと自負しています。最後になりますが今年度の私たちの活動を支えて下さった皆様、本当にありがとうございました。



スピード部門主務
道見 花恋
スポーツ科学部
帯広三条

平素より多大なるご支援・ご声援を賜り、誠にありがとうございます。今年度は新入部員1名を加え、計6名で活動しております。少数精鋭ながら、昨年度以上に士気を高め日々練習に励んでおります。各々が目標を高く持ち、早稲田大学スケート部としての誇りと信念を胸に邁進しております。また、東京タワー階段競走への出場やスポンサー獲得など、新たな繋がりもできました。

私自身、来年度は競技の集大成となります。悔いを残さぬよう1日1日を大切に過ごしたいと思っております。

今後とも、部員一同スケート部並びにスピード部門の発展を目指し精進して参ります。ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。



フィギュア部門主務
妻鹿 愛
政治経済学部
大阪桐蔭

本年度のフィギュア部門は、新たに11名の部員を迎え、昨年度に引き続き過去最多の部員数を更新いたしました。本年度のスケート部スローガン「ELEVATE」を体現すべく、部員一人ひとりが練習や行事を通して互いに高め合いながら、日々努力を重ねております。また、来年3月に開催を予定しております「WASEDA ON ICE 2026」に向けて、部員一人一人となって準備を進めております。創部102年を迎える本年、これまで築かれてきた伝統を受け継ぎつつ、さらなる進化を目指して努めてまいります。最後に、福島部長、八木沼監督をはじめ、OBOGの皆様、そして多くの関係者の方々のご尽力に心より感謝申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



フィギュア部門主務
坂崎 愛介
基幹理工学部
早大学院

本年度のフィギュア部門には、過去最多の11名の新入部員が加わり、総勢27名でシーズンを迎えることとなりました。練習拠点は各々異なるものの、部員数が増えたことにより、これまで以上に和気あいあいとした日々の練習に励んでおります。本年度も「WASEDA ON ICE」の開催を予定しております。第6回となるこのアイスショーを再び開催できるように感謝し、日頃の努力の成果を発揮できるよう、部員一同精進してまいります。最後に、部長・監督をはじめとする先生方、OB-OGの皆様、そしてフィギュア部門を応援して下さる皆様のご支援に心より感謝申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



本年度試合戦績

成績(早稲田勝利:○、引き分け△、敗戦●)

[ホッケー部門]

◇第70回早慶アイスホッケー春季定期戦 (6月14日)

優勝(○3-1)

◇エフワ杯2025年度関東大学アイスホッケーリーグ戦

(ディビジョン1セカンドリーグ) (10月13日~11月9日)

5位

▷東洋大(●1-14)

▷中央大(●1-9)

▷日本大(○5-0)

▷明治大(●3-5)

▷法政大(●3-4)

◇第98回日本学生氷上競技選手権大会 ファーストディビジョン

(12月23日~28日)

ベスト8

▷八戸工業大(○15-0)

▷専修大(○6-2)

▷明治大(●2-5)

◇第89回早慶アイスホッケー秋季定期戦 (1月4日)

優勝(○2-1)

[スピード部門]

◇第98回日本学生氷上競技選手権大会(ST) (10月18日~19日)

小田琥太郎

▷男子1500m学校対抗競技 4位

▷男子1000m学校対抗競技 6位

吉澤葵

▷女子1500m学校対抗競技 7位

▷女子500m学校対抗競技 4位

◇第32回全日本スピードスケート距離別選手権大会

(10月24日~26日)

河原莉緒(距離別選手権部門)

▷女子500m 第16位 ▷女子1000m 第16位

吉澤葵(ジュニア派遣選手選考部門)

▷女子1000m(jr) 第4位 ▷女子1500m(jr) 第5位

◇全日本選抜スピードスケート競技会 帯広大会(11月14日~16日)

宮原啓

▷男子1500m 第29位 ▷男子5000m 第25位

◇全日本選抜スピードスケート競技会 釧路大会(11月22日~24日)

宮原啓

▷男子3000m 第2位 ▷男子5000m 第22位

河原莉緒

▷女子1000m 第10位 ▷女子1500m 第13位

◇第45回全日本学生スピードスケート距離別選手権大会

(11月29日~30日)

宮原啓

▷男子1500m 第5位

◇第49回全日本選抜ショートトラックスピードスケート選手権大会

(11月22日~23日)

小田琥太郎

▷男子1500m選手権 第21位

▷男子1000m選手権 第13位

▷男子500m選手権 第27位 総合22位

吉澤葵

▷女子1500m選手権 第12位

▷女子1000m選手権 第13位

▷女子500m選手権 第22位 総合17位

[フィギュア部門]

◇第19回東日本学生フィギュアスケート選手権大会

(10月10日~12日)

女子3級

▷浅間百合子(5位)

女子4級

▷笠井美好奈(4位) ▷梅本優花(14位) ▷宮本明依(15位)

女子6級

▷妻鹿愛(1位) ▷小林遙佳(2位) ▷金田桜季(15位)

女子7, 8級

▷穂積乃愛(12位) ▷中野真桜(25位) ▷吉本玲(26位)

男子3, 4級

▷坂崎愛介(2位)

男子5, 6級

▷市川翼之介(9位)

男子7, 8級

▷山田琉伸(8位)